

知的障がいのある児童生徒のための
教材教具集

令和3年1月

福島県立あぶくま支援学校

目次

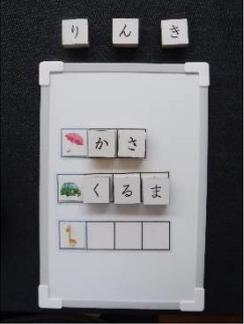
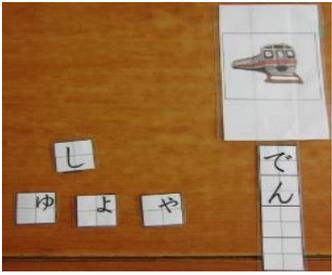
〈各教科等〉

国語	1
算数・数学	4
音楽	10
体育	11
自立活動	13

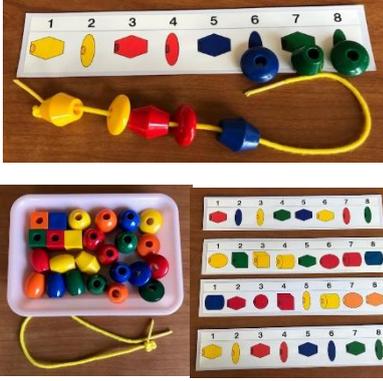
〈各教科等を合わせた指導〉

日常生活の指導	19
生活単元学習	21
作業学習	26

	<p>なまえ/ イラストや写真と文字のマッチング</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ *イラスト同士、文字同士のマッチングからイラストと文字のマッチングへ発展させたかった。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 自立活動、国語</p> <p>使う際のポイント/ * 児童生徒にとって身近な人の名前や場所の名前、興味関心の高いキャラクターなどを使って作成することが可能。</p> <p>使い方は?/ * イラストと文字を1枚のカードにしておき、見本とのマッチングができるようになったら、イラストと文字を切り分けてイラストに合う文字を選択できるように段階的に発展させることができる。</p>
	<p>なまえ/ うごきのことば</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 動作の名称を知る。(言葉や文字で) * 国語</p> <p>使う際のポイント/ * 1枚のプリントを使って、「言葉で伝える」「文字を読む」「絵と文字のマッチング」「単語の形成」「書字」の5つの学習を行うことができます。 * 写真は、3つの動詞を提示し、難易度を上げていますが、初めは1つの単語からの学び方が良いかもしれません。</p> <p>使い方は?/ ①絵を見て何をしているか答える。 ②動詞が書かれたひらがなカードを読む。 ③絵とひらがなカードをマッチングする。 ④一文字ずつのひらがなブロックを絵の下に並べる。 ⑤プリントに文字を書く。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 名詞の習得が進んだ後に、動詞の習得を目指すことで、生活で生かすことができる言葉が増えていきます。習得段階に応じて、学習内容を変えていくことができる教材です。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	

	<p>なまえ/ 文字の組み立て</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 生活の中で使われる単語や児童の興味のあるものを題材にすることで、集中して取り組みている。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの？/ * 文字の理解 * 国語、自立活動</p>
	<p>使う際のポイント/ * 単語として理解しているのか、文字として理解しているかの確認ができる。 * 実態に応じて、穴埋めにしたり、すべての文字を組み立てたりと難易度を変えることができる。 * できた単語と一緒に読むことで、文字の理解につなげる。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 文字を書くことに意欲的だが、正しく特殊音節を表記することが難しい学習集団の国語の授業で使用した。黒板を使いクイズ形式で授業を進めることで、児童生徒同士で確認し合ったり、声に出して読んだりする姿が自然にみられた。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使い方は？/ * 絵に合った文字になるように、文字ブロックを組み立てる。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 文字を書くことに意欲的だが、正しく特殊音節を表記することが難しい学習集団の国語の授業で使用した。黒板を使いクイズ形式で授業を進めることで、児童生徒同士で確認し合ったり、声に出して読んだりする姿が自然にみられた。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>なまえ/ ねじれる音の単語づくり</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 文字を書くことに意欲的だが、正しく特殊音節を表記することが難しい学習集団の国語の授業で使用した。黒板を使いクイズ形式で授業を進めることで、児童生徒同士で確認し合ったり、声に出して読んだりする姿が自然にみられた。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの？/ * 国語（拗音の構成、表記の確認）</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 文字を書くことに意欲的だが、正しく特殊音節を表記することが難しい学習集団の国語の授業で使用した。黒板を使いクイズ形式で授業を進めることで、児童生徒同士で確認し合ったり、声に出して読んだりする姿が自然にみられた。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 本教材を活用し、拗音の表記・読み方を確認する。取り組んだ内容と同様の単語のプリントを使い、拗音部分を記入して、定着を図ることができるようにした。</p> <p>使い方は？/ ① イラストと単語カード（特殊音節の場所が空欄になっている）を提示する。 ② 「き」「し」「や」「ゆ」「よ」等の文字カードを選択し、単語カードに貼り付ける。 ③ イラストの裏に記載してある答えを児童生徒が自分で確認する。誤っているときには、正しく選択しなおす。 ④ 声に出して読む。</p>

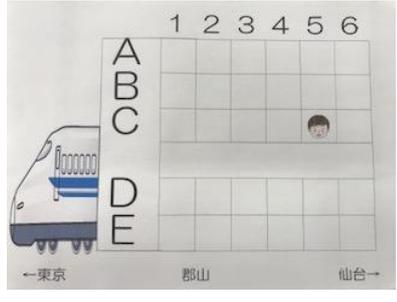
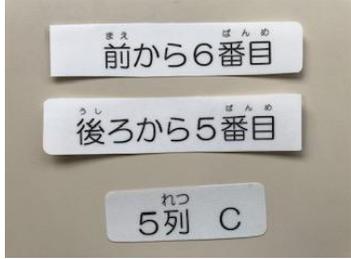
	<p>なまえ/ 名詞・動詞・助詞カード</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 日常動作や、身近な言葉を取り上げることで、生活の中で活用することができた。 * 適切な助詞を使った言葉のやりとりが増えた。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 助詞を使った文の構成の学習。 * 国語</p> <p>使う際のポイント/ * カードの内容を、児童生徒にとって身近な事象にすることで、興味や実感をもって取り組みやすい。 * 作った文章を動作化することで、助詞の使い方で意味が変わることを実感させる。例：右手をあげる→(〇〇を)右手であげる * 児童の実態によっては、カードを種類別に色分けすると理解しやすい。</p> <p>使い方は?/ * 名詞・動詞・助詞のカードを選んで並べ、文章を作る。 * 作った文章を発表する。声に出すことで間違いに気付くこともある。</p>
 <p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 学習の始めは濁点の付かない清音にも濁点をつけていた。濁点の必要性に気づくことで、書いた文字の間違いに早く気づくことができるようになった。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>なまえ/ 読んでみよう・書いてみよう</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 濁音の読み方と書き方の一致が難しい時。 * 読むことはできるが、書く時に難しさを感じている時。 * 国語</p> <p>使う際のポイント/ * 濁音の含む言葉をイラストと一緒に確認し正しく読む。 * カードで言葉を構成し、書く学習につなげる。</p> <p>使い方は?/ * イラストと文字を見て正しく読む。 * 文字カードを使って濁音を含む言葉の構成をする。 * 言葉カードに濁音部分のみを書く。 * プリントにイラストの言葉を正しく書く。</p>

	<p>なまえ/ あわせて 10</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 10の合成・分解、物の数え方、お金 * 算数・数学、自立活動</p> <p>使う際のポイント/ * 最初は正しい組み合わせがすぐに自分で確かめることができるよう、同じ色やシール、マークなどをつけておく。徐々に色などのヒントを減らしていき、自分で答えが出せるようにする。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * ロールを回転させるのに興味を示し、自分で操作していた。 * 物と数え方、硬貨と金額など、取り付けるシートをいくつか準備して交換できる形にした。</p> <p>主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>使い方は?/ * 左右のロールを回転させて左側2ー右側8など合わせて10になるよう操作する。(色を合わせる) * 左右のロールを回転させて正しい組み合わせになるよう操作する。</p>
	<p>なまえ/ からふるびーズ</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 物をつまんで、紐にビーズを通す作業は、手指の巧緻性や目と手の協応動作を育てる学習にピッタリ! * ビーズ見本を見ながら、同じ色、同じ形のビーズを選んで、順序良く紐に通す作業は、順番や順序数の理解、色や形を弁別する力や見本と実物を比較検討する力を育てたい時に使っています! * 算数・数学、自立活動</p> <p>使う際のポイント/ * 形や色の弁別に自信のない児童なら、最初はビーズを見本の上に並べて、形や色が合っているか確認してから、順番に紐に通すとわかりやすいようです。 * 順序数のわかる児童には、見本に数字がついているので、「1は?」「あかのしかく!」等とやりとりをしながら進めることもできます。 * 児童の実態に応じて、一緒に「次は赤の口だね。」と確認しながらやり始め、慣れてきたら、少しずつ一人で挑戦させると良いと思います。 * たとえ間違っても、間違えたところから再度チャレンジすると、関心も意欲も持続します。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * カラフルなビーズが魅力的なのか、どの児童も集中して取り組んでいました。児童の実態に合わせて見本を作れるので、どんな児童にも対応できる教材です。</p> <p>主な使用年齢：色、形の弁別ができ始めるころ</p>	<p>使い方は?/ * いろいろな要素を持ったビーズなので、色か、形か、手指の巧緻性なのか等、児童のねらいに合わせた見本を準備することが大事だと思います。</p>

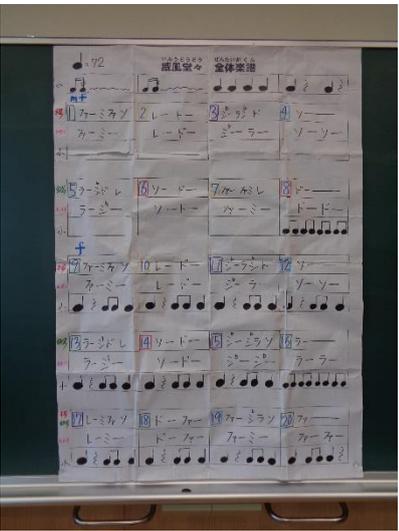
	<p>なまえ/ 的当て遊び</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 的当て遊びを楽しみにして、その後の学習にも進んで取り組むことができた。 * プリントで活動を明確にすることで、やること分かり、集中して学習に取り組むことができた。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 数字のマッチング、足し算、グラフにして比べる。 * 算数・数学</p> <p>使う際のポイント/ * 数字のマッチング、足し算、多少比較など、的当てをした後の学習活動を、児童生徒の実態に応じて組み立てる（児童生徒の活動に合わせたプリントを作成）。 * 実態差があっても、同じ“的当て遊び”を通して、算数の学習を行えるように工夫する。</p> <p>使い方は?/ ①的当てのやり方や約束を確認してから、的当てをする。 ②倒したのと同じ数字の箱を選んで（数字のマッチング）、グラフにシールを貼る。1回目と2回目どちらが多いか比べたり、数字を書く練習をしたりする。 ③倒した的の数字（2～3枚）を足し算し、合計の数のシールをグラフに貼る。1回目と2回目どちらが多いか比べる。 ※②に取り組むか、③に取り組むかは、児童生徒の実態に応じて。</p>
	<p>なまえ/ ものの個数の比較・数の大小</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 具体物により近い半具体物进行操作する数学的活動を通して、数のまとまりに着目し、数の概念や表し方が理解できるようになってきた。今後、マグネットなどの半具体物を使った加法減法の学習に発展させていきたい。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * ものの個数を比較し、大小等の判断ができるようにする。さらに、加法、減法の学習につなげることができる。 * 算数・数学、自立活動</p> <p>使う際のポイント/ * 課題把握場面のステージやイラストマグネットは、児童生徒の興味・関心に応じてお店屋さんや線路、道路などにすることが可能。 * マス目ボードのマス目の数は、児童生徒の実態に応じて加除可能。 * イラストマグネットの形状や素材等は、児童生徒の実態に応じて操作しやすいものにする。</p> <p>使い方は?/ * 課題把握の場面で原っぱのステージにイラストマグネットを使ってお話をすることにより、児童生徒に課題把握をさせる。 * その後、マス目ボードを使って「どちらがおおい」「どちらがすくない」などの問題に取り組ませる。</p>

	<p>なまえ/ ○個ずつ</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 1～4までの数唱はできていた。数量の理解は2までであったが、数量「3」について一緒に数えたり、確認を繰り返して行ったりし、「3」の数量の理解につなげることができた。</p> <p>主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの？/ ・ 1～5までの数量の学習 ・ 算数・数学、職業</p> <p>使う際のポイント/ ・ 初めは教師と一緒に学習方法について確認しながら行う。 ・ 難しい場合は、仕切りのある入れ物や紙皿に置き、指定の数をまとめて入れることも可能。数量の学習が難しくても、ヒントがあれば『「○個ずつ」に分ける』学習活動にも活用できる。</p> <p>使い方は？/ ①袋に書かれた数字を教師が読む。 ②ドットを数え、いくつ入れるか確認する。 ③声を出しながらデコレーションボールを数えて入れる。</p>
 <p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 0の概念の理解や、加法の計算の導入として活用することができ、実態に応じて学習内容を柔軟に変えることができた。</p> <p>* パチンコを引っ張る動作が難しい児童もいたが、回を重ねるごとに引っ張って離すという一連の動作ができるようになった。</p> <p>主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>なまえ/ コリントゲーム</p> <p>どんな時に使うもの？/ * グループA：1～6の数を数える、数の大小を比べる * グループB：1～9の数を数える、足し算の計算をする * 算数・数学、図工</p> <p>使う際のポイント/ * トイレットペーパーの芯に絵の具やペンなどで好きな絵を描き、自分たちのオリジナルの土台を作成する。 * パチンコで玉を弾いて入った得点分グラフにシールを貼り、数を数える。</p> <p>使い方は？/ * 入った得点と同じ数が書かれた数字カードや、同じ数だけ●(ドット)が書かれたカードを選ぶマッチングを行い、数と数量の理解につなげる。 * 1回目と2回目の数の大小を確認したり、足し算をしたりするなど実態に応じて学習内容を変える。</p>

	<p>なまえ/ おなじかず</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 数字、数詞、数唱の学習活動を日頃の遊びや生活単元学習などの中でも行っていくようにした。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの？/ * 1～3の同数を作る * 算数</p> <p>使う際のポイント/ * 手本を見せて、やり方を教える。数えずに、見て選ぶようにする。 * できてきたら、数を3まで増やす。 * Oシール、指カード、絵カード、数字カードを作っておくと、いろいろな組み合わせで行うことができる。できるようになったら自立課題としても使える。</p> <p>使い方は？/ * 児童・生徒の知っているもの、興味のあるもの（動物、食べ物など）の絵カードを用いて、 ① Oの数と同じ数だけ絵チップを置く。 ② Oの数と同じ数の絵カードを目で見取って箱に入れる。 ③ 指の数と同じ数の絵カードを目で見取って箱に入れる。</p>
 <p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 数の数唱や、「OをO個」「合わせていくつ」など具体物を数えるのに興味がある児童 * 1～10までの具体物の数え、1桁の加法ができるようになった。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>なまえ/ おみせやさんごっこをしよう</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 具体物の数え方を練習する。 * 算数、生単</p> <p>使う際のポイント/ * 児童生徒が興味のある具体物を用意する。 * 教師が店員になりきり、楽しい雰囲気で行う。 * 児童生徒の手元に「おつかいカード」を置き、教師の言葉だけでなく、自分で「何」を「何個」選ぶのかを視覚的に確認できるようにする。</p> <p>使い方は？/ * 教師がやり方の見本を見せる。 * 「OをO個選んで」「買ったのは全部でいくつ？」など、言葉を変えながら使うといろいろな数の学習に活用できる。</p>

	<p>なまえ/ ならべてみよう</p>
	<p>どんな時に使うもの？/ * 「左から〇番目」「上から何番目」などの順序や位置がわかる。 * アルファベットや地名に興味をもつことができる。 * 算数・数学、外国語、社会</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 修学旅行などを楽しみにしながら学習でき、意欲的に取り組むことができました。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 「修学旅行で東京に行こう！」や「ギョーザを食べに宇都宮に行こう！」など、日本地図なども活用すると社会の学習にもつながる。 * 「A、B、C、D・・・」など、事前にアルファベットの練習もしておくとうい。 * 「A」「B」「C」などのヒントを消しても正しい位置に貼れるとうい。</p> <p>使い方は？/ ①左右の確認 → 動物イラストを並べて、「左から〇番目は？」「右から〇番目は？」の問いかけ。 ②上下の確認 → 動物イラストを並べて、「上から何番目は？」「下から何番目は？」の問いかけ。 ③左右、上下の理解ができれば、新幹線のイラストを黒板に提示。 ④左右の確認ができれば、東京・仙台方面の確認。 ⑤「前から〇番目」のカードを引いてもらい、正しい位置に自分の写真カードを貼るように促す。 ⑥「後ろから〇番目」のカードを引いてもらい、正しい位置に自分の写真カードを貼るように促す。 ⑦「前から〇番目」「後ろから〇番目」のカードを混ぜて提示する。 ⑧「5列 C」などのカードを引いてもらい、正しい位置に自分の写真カードを貼るように促す。 ⑨実態に応じて繰り返し、定着を図る。</p>

	<p>なまえ/ 時計シート</p> <p>どんな時に使うもの？/ * アナログ時計の、針の進み方の導入 * 時、分の読み方の学習 * 算数・数学</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 自分が長針・短針になって進むことで、針の動きを体感できたようです。「時計回り」や「反時計回り」という、言葉の理解にもつながる様子がありました。</p> <p>主な使用年齢：時計の学習の初期の時期</p>	<p>使う際のポイント/ * みんなで文字盤の数字を声に出して読むようにすると、お互いの学習に注目しながら取り組める。 * 「〇時はどこ？」と児童生徒同士が問題を出し合うことで、楽しみながら学習をすることができる。</p> <p>使い方は？/ * 短針・長針に見立てた紐を持ち、数や目盛りを数えながら跳んで移動する。 * 「〇時」や「〇分」はどこ？という問題を出し、時刻に合う数字に移動する。その時、「時計回りにしか進めない」というルールを確認しながら行う。</p>
	<p>なまえ/ 同じ金額</p> <p>どんな時に使うもの？/ * お金、等価関係の理解 * 算数・数学</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 等価関係について説明するだけでは理解しづらい様子だったが、実際に硬貨を操作するやりとりの中でその都度使用することで徐々にイメージがもて、提示した瞬間に「わかるよ！」と自分から答えることができた。</p> <p>主な使用年齢：金種の区別ができる時期</p>	<p>使う際のポイント/ * 各硬貨の金種の区別ができ、1円・10円・100円硬貨の操作をある程度学習してから使用した。 * 教師が提示した金額に対して1円・10円・100円を使って答えたとき、「こっちのお金でも大丈夫だね。」と提示する。実際のやりとりの中でその都度使用するとイメージがもちやすい。</p> <p>使い方は？/ * 冊子をめくると、表紙の硬貨と等価関係にある硬貨の組み合わせを見ることができる。(例) 10円玉→5円玉2枚→5円玉・1円玉5枚… * 5・10・50・100・500円玉のカードを裏返すと、その金額と等価関係になる硬貨を見ることができる。(例) 表【500円玉】→裏【100円玉5枚】</p>

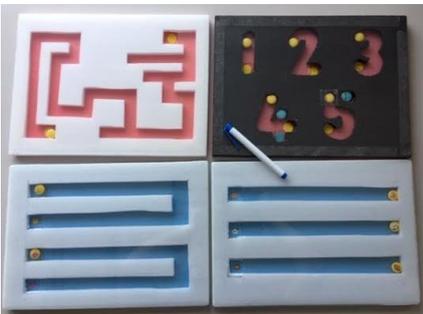
	<p>なまえ/ リズム譜</p> <p>どんな時に使うもの？/ * リズム打ち（手拍子）をする時 * 音楽</p> <p>使う際のポイント/ * 手拍子でリズム打ちをする時に、譜面を指しながら行うことでどこで手拍子をするのかが分かりやすくなる。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 譜面を見て、自分で手拍子のリズム打ちをすることができるようになった。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使い方は？/ * 曲を聴きながら手のイラストの部分は「手拍子」、黒丸は「休み」でリズム打ちをする。</p>
	<p>なまえ/ 威風堂々 全体楽譜</p> <p>どんな時に使うもの？ * 合奏の全体楽譜 * 音楽</p> <p>使う際のポイント/ * 威風堂々の全体楽譜です。全部のパート（全部の楽器）の楽譜が一覧になっています。 * 主旋律を確認しながら、他のパートも速度がずれていないか確認することができます。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 生徒が一人で確認してできるよう見やすくしてます。 主な使用年齢： 高等部</p>	<p>使い方は？/ * 生徒が曲全体の流れを確認することができ、自分のパートが他の楽器の音とずれていないか確認しながら演奏しています。</p>

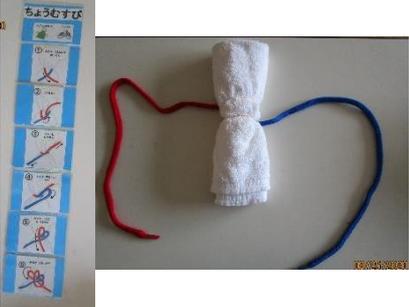
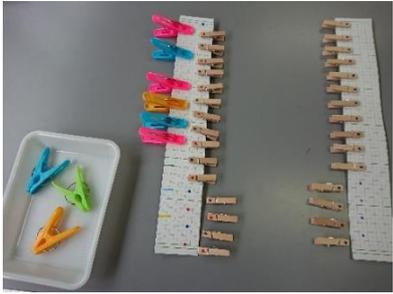
	<p>なまえ/ シャトルスロー</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 投げる力をつけるために使用 * 体育</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * ひもの上をシャトル（ペットボトル）がすべっていく様子や、その時の音なども楽しみながら活動できた。 * どのぐらい投げられたか記録をとることで、記録の伸びを確認できた。 主な使用年齢： 学齢期すべて（握ったものを離すことができる児童生徒）</p>	<p>使う際のポイント/ * 児童生徒の投げやすい高さに調節する。 * どのぐらい投げられたか、ひもにつけられた印（1mごとのテープ）を児童生徒と一緒に数えて確認する。</p>  <p>使い方は？/ * ひもの片方はバスケットゴールなど高いところに固定し、もう片方は教師が持ち、児童生徒の使いやすい高さに調整する。 * ボールを投げるように持ち、できるだけ遠くまで行くように投げる。 * 投げ終わった後、ひもにつけた印を一緒に数えて記録をとる。</p>
 <p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 絵カードを見て、いろいろな動物のイメージをもちながら動き方も上手にできるようになった。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>なまえ/ 体操カード</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 体を動かす体操として運動をする時 * 体育</p> <p>使う際のポイント/ * 実際に動きを示範して示す。動物が動きをしている絵を見て、児童生徒は動物になりきって動きのイメージもしやすくなる。</p> <p>使い方は？/ * エリックカール絵本「できるかな？」の音楽に合わせてカードをめくっていく。カードの絵と併せて、実際にどんな動きをすればよいか示範して示す。</p>

	<p>なまえ/ カラーコーン用ベル</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 見て何をすることが分かりやすく、児童が鳴らしたいという意欲をもって取り組む姿が見られた。最初は立ち止まって何度もベルを鳴らす児童もいたが、繰り返し取り組むことで立ち止まらずに時間内に往復できる回数が増えた。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 一定の距離を往復して走る際（シャトルランなど）に使用する。 * 体育</p>
	<p>使う際のポイント/ * 走ってベルを鳴らしたら戻ってきてもう一つのベルを鳴らし、また走っていくという一連の動きを教師が見本として見せる。 * 何度も鳴らすのではなく、一回鳴らしたら走る。教師が笛を吹いて終わりを告げるまで往復して走る。といった約束を確認する。</p>
	<p>使い方は?/ * 一人につき二つ用意する。往復する場所のスタートとゴールにセッティングする。 * 市販の卓上ベルの下に透明なプラスチックコップをつけてあるので、コップ部分をカラーコーンの先端にかぶせて使用する。</p>

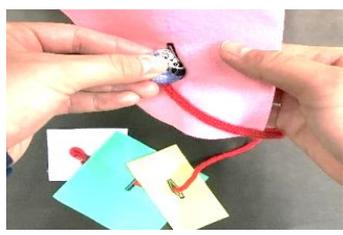
	<p>なまえ/ 積み木入れ</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 容器の穴をよく見て、積み木を持ち替えたり、手首を動かして積み木を入れたりできるようになった。 * 色の弁別も合わせて行うことで、視覚的にも楽しみながら取り組んでいた。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 手指の巧緻性を高める。 * 手首の動きを高める。 * 自立活動</p> <p>使う際のポイント/ * 容器に空いた穴をよく見て、手で持った積み木の向きを変えるようにする。 * 積み木をトレイに用意し、終わりを分かりやすくすることで、最後まで集中して取り組めるようにする。</p> <p>使い方は?/ * 積み木を様々な向きに入れるようにするため、容器をトレイに入れた状態で取り組む。 * 積み木の量は、はじめは少なく、慣れてきたら徐々に増やす。</p>
	<p>なまえ/ ふたを回してあけてみよう</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 軽くふたを閉めておくと、自分でふたを回してあけ、瓶をひっくり返して中の人形を取り出すことができました。 主な使用年齢： 小学部低学年</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 握って回して開け、中の物を取り出す練習をする。 * 自立活動</p> <p>使う際のポイント/ * ふたを少しずつ強く締めておくことで、しっかりと握って回す練習をすることができます。水道の蛇口を回すことが難しい児童がいたので、その練習として考えました。</p> <p>使い方は?/ ① ふたを握り、回してあける。 ② ボトルをひっくり返し、中の人形を出す。 ③ 人形と写真のマッチングをする。</p>

	<p>なまえ/ 箸を使おう</p> <p>どんな時に使うもの?/ * ものをつまむ、はさむ練習をする。 * ものをつまんだりはさんだりしたまま移動し、離す練習をする。 * 箸を使う練習をする。 * 自立活動</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 道具を自分で選び、段階的に練習ができます。 * 楽しみながら練習することによって、手指の巧緻性が高まり、給食時の箸の使い方が上手になりました。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * トングから箸まで段階的に練習がしている。 * 何色などと指定したり、児童生徒と一緒に取り組んだりして、楽しみながら行っている。</p> <p>使い方は?/ * 段階に応じて、つまむものを、つまみやすいものから難しいものにして、飽きないように、児童生徒の興味のあるものにしてるとよいと思います。</p>
	<p>なまえ/ 書見台</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 机上で活動する際に、視線を下に向けることが難しい児童生徒が、絵の色塗りをしたり、本を読んだりする時に使う。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 机上で活動する際に、視線を下に向けることが難しい児童でも、書見台を用いて、その児童が見やすい位置に教材を提示することによって、活動への集中力が高まった。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 児童生徒から見て、見やすい・書きやすい場所に書見台を設置することが重要である。(安定した姿勢の保持、眼と対象物との視距離の保持にもつながり、集中力が高まる。)</p> <p>使い方は?/ * 児童生徒が見やすい、書きやすい場所に書見台を置き、本や画用紙を設置する。</p>

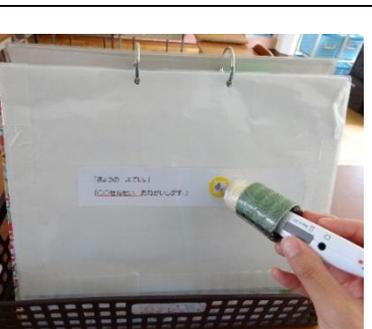
	<p>なまえ/ まちがえてもだいじょうぶ！</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 失敗をするのが苦手な児童生徒に対して、間違えた際の対処方法と自分をコントロールできるようなスキルを身に付けさせる。あわせて、見る力や集中力等を養う。 * 自立活動（SST）</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 進んで間違いを見つけ、教師と一緒に消しゴムで消してから、訂正することができた。 * 生活の中でも、間違いや失敗があった時に、少し時間をおいて考えたり、直そうとしたりする場面が見られてきた。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 「間違えても大丈夫。」「消しゴムで消して直せば大丈夫。」などと言葉をかけながら取り組ませる。 * 間違いを記入する際、消しゴムで容易に消せるような鉛筆を使う。</p> <p>使い方は？/ * 「あれあれ、動物さんのしっぽや耳がちがうよ。よくみて、間違いを探してみよう。」と言いながら、意図的に間違いのあるプリント（しっぽや耳を違う動物のものにして記入しておく。）を提示する。 * 教師と一緒に消しゴムで消して正しいしっぽや耳を記入する。</p>
 <p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 鉛筆を使う前段階として、楽しくペンを使う学習になる。 * 強い磁石のペンで学習を始め、できるようになってきたら弱い磁石で行う。 * ペンの正しい持ち方、使い方を教える。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>なまえ/ 磁石ペンをつかおう</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 運筆の練習 * 国語、算数、自立活動</p> <p>使う際のポイント/ * 磁石ペンでしっかりと下の磁石をガイドしないと途中で落ちてしまうので、やり直しをしながら最後まで取り組むようにする。</p> <p>使い方は？/ ① 磁石ペンを持つ。 ② 透明版の下にあるカラー磁石を磁石ペンでガイドして、取り出し口から取り出す。 ③ 取り出した磁石ペンを箱に入れる。</p>

	<p>なまえ/ ちょうむすび</p> <p>どんな時に使うもの？/ * ちょうむすびの手順を身につける。 * 自立活動</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 左右のひもの色を変えることで、ひものかさねかたや動かし方が理解できた。繰り返し取り組んだことで、色分けされていないひもでも、正しくちょうむすびができるようになった。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 手順のイラストを見ながら、「あかを上にしてばってん」「くぐらせて」「ぎゅっと引っ張る」など、分かりやすい言葉をかけながら進める。</p> <p>使い方は？/ * 児童生徒によっては、手順表を1枚ずつ提示した方が注目しやすい。初めは段階を分けて取り組むとよい。慣れてきたら、複数用意し、全部ちょうむすびができたなら報告することを課題としていた。</p>
	<p>なまえ/ 洗濯ばさみできるかな (洗濯ばさみを用いたマッチング教材)</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 色と同じ具体物を対応させる操作的課題として * 洗たくものかけハンガー活用前の目と手の協応動作課題として * 自立活動</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * ミニ木製せんたくばさみから、また1色対応から段階的に取り組むとよい。発展的に洗濯したエプロンなど実物をハンガーの洗濯ばさみにはさむ課題に役立った。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 指定した色マークと同じところに洗濯ばさみをはさむ。 1段階： ミニ木製せんたくばさみを用いて 2段階： 通常のせんたくばさみを用いて 3段階： 洗濯ハンガーの洗濯ばさみを用いて</p> <p>使い方は？/ * 1色だけの色マークのところに同一色の洗濯ばさみをはさむ。 * 1色の色マークとのマッチング操作ができれば、2色・3色とマークの色を増やし同色の洗濯ばさみを対応させていく。</p>

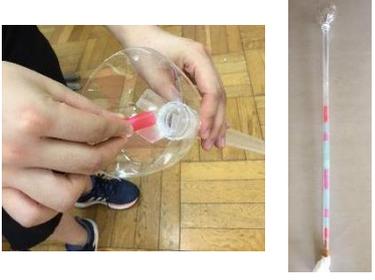
	<p>なまえ/ いつ どこで なにをする！</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 活動と場所を結びつける * 朝昼夕の概念形成 * 自立活動</p> <p>使う際のポイント/ * 最初は、一部のみを自分で行う。段階的に、自分で行うところを増やしていく。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 写真や好きな活動を取り上げているので、興味を持って取り組む様子が見られる。 * 間違いがあり、指摘したところ、次からよく見て取り組むようになった。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使い方は？/ * 課題学習の一つとして、行っている。 * 時間、やること、場所をよく見て選び一覧表を完成させる。</p>
 	<p>なまえ/ 靴下たたみ</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 指先を使って洗濯ばさみをつまんだり、2枚の靴下を重ねて正確にたたんだりする練習に使用する。 * 左右の靴下や収納ポケットと靴下のマッチングを行うこともできる。 * 自立活動</p> <p>使う際のポイント/ * 「つまむ」「重ねる」「そろえる」「たたむ」などの動作を言葉で確認しながら進める。 * 児童生徒が注目できるような言葉かけをする。 * 児童生徒が自分から取り組みたくなるような称賛の言葉かけをする。 * 支援カードや言葉かけは、学習状況に合わせて減らしていく。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 初めは教材のねらいに沿った動作が見られなかったが、言葉かけをし、一つ一つの動作を意識させることで、「つまむ」「たたむ」など丁寧に取り組むことができるようになってきた。給食時におしぼりの角を合わせてたたむ様子も見られるようになった。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使い方は？/ * 家庭での手伝いも想定し、物干しから外してカゴに入れて運ぶことから行う。 * 初めはイラスト入りの靴下など、組み合わせがわかりやすく、児童生徒が興味を持てるようなものを使用する。 * 学習状況に合わせ、収納ポケットの写真を貼り替え、収納する位置を変えたり、靴下を変えたりして、難易度の調整をすることも可能。</p>

	<p>なまえ/ 洗濯ばさみの留め外し</p> <p>どんな時に使うもの/ * 手指の巧緻性を高めるための課題学習で使用している。 * 自立活動</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 色鮮やかな洗濯ばさみを見て興味を示していた。 * ピンクと赤の弁別が難しかったが、繰り返し返すうちに区別できるようになった。慣れてきたところで、ストップウォッチを使用してタイムを計ることにしたことで、タイムを意識して集中して取り組むようになった。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * かごの枠に出っ張りがあるため、指先にしっかり力を入れて洗濯ばさみを開くようにしないと、留め外しができないようになっている。</p> <p>使い方は？/ * 6色のシールの上に同じ色の洗濯ばさみを留めていく。 終了後は、洗濯ばさみを外してかごに入れて片付ける。</p>
	<p>なまえ/ ボタン通し</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 自立活動 * 衣服のボタンの着脱や、ズボンのファスナーの開閉が難しい児童生徒に対して、実活に反映できるように使用する。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 教材の操作の仕方を理解することが難しく、フェルトのボタンの穴にボタンを通すことができなかったが、繰り返し取り組み、反対の手でボタンを引っ張ることを理解すると、穴にボタンを最後まで通し、小さいフェルトも持ち方を工夫し、取り組むことができるようになった。日常生活では、給食時のエプロンのボタンや制服のボタンを自分で挑戦することが多くなり、かけ間違えはあるがボタンを通すことができるようになった。今後はより日常生活に近い形に教材を工夫し、般化できるようにしていきたい。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 様々な色や大きさのフェルトを用いたり、好きな動物のボタンを用いたりすることで、より手元に注目して取り組むことができるようにした。また、意識がほかのことにそれてしまった際に、ボタンの動物やキャラクターを見るように促すことで、自然と手元を見るようになった。</p> <p>使い方は？/ * フェルトにボタンの大きさに合わせて穴をあけ、ボタンを通すことができるようにする。また、ボタンをひもとつなげ、土台を作り、通したフェルトが土台の上に積み重なるようにする。</p>

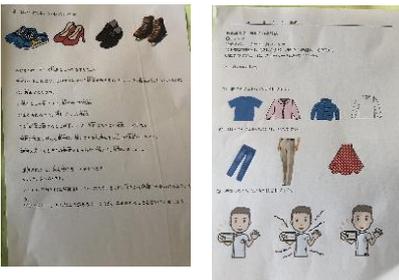
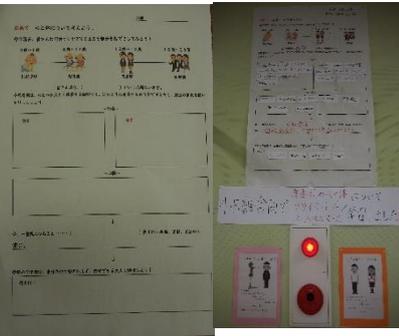
	<p>なまえ/ かご</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 登校時、廊下にかばんを放り投げて、自分の行きたい場所へ行こうとする。 * 教室に向かうことを嫌がる。 * 日常生活の指導</p> <p>使う際のポイント/ * かごという動かせる具体物を使うことで児童に示しやすく、学校に来たらランドセル等をかごにいれるという約束を共有することができる。かごを動かすことができるので、置く場所を徐々に玄関から教室に近づけていくことができる。 * かごの置き場所にこだわることもあるので、長期間同じ場所には置かないようにする。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 最初は教室に向かうように促すと泣き騒いでいたが、かごにいれることを理解してできるようになると、徐々に教室に近づくことができるようになった。 * かごを使用することで、見通しをもつ、他者のかかわりを受け入れる、簡単な約束を守るということにつながった。 主な使用年齢： 小学部入学時</p>	<p>使い方は？/ * はじめは、教師がランドセルをいれて見せたり、一緒にいれたりする。 * いれるものがわかるように、ランドセルのイラストや目印となるマークを貼っておく。教室のランドセル置き場にも、同様のイラストを貼っておき、将来的に教室のロッカーに片づけることができるように指導する。 * 目的に合わせてかごの大きさを変えてもよい。</p>
	<p>なまえ/ ルールについて(SST)</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 廊下を歩いて移動するときや、教室内でのルールをその都度確認する。 * 日常生活の指導</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 教師の言葉だけでは守れなかったり、すぐに忘れてしまう児童たちが、毎度の確認によって、ルールを守ろうとしたり、他の児童に守るように声をかけたりする姿が見られるようになりました。 主な使用年齢： 小学部</p>	<p>使う際のポイント/ * 出入り口に貼っておくことで、移動のときに注目できるようにする。 * 持ち運べるサイズのカードも合わせて用意することで、いつでもルールの確認ができるようにする。</p> <p>使い方は？/ * イラストを使いながら、正しい姿を〇×クイズで確認する授業を行う。 * 使用したイラストと文字を教室の出入り口に掲示し、移動の際にその都度確認する。 * 移動の際などにも、イラストカードを使って自分でルールがわかるようにする。</p>

	<p>なまえ/ なまへの箱と写真カード</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 返事、入れる、挨拶の動きがスムーズになった。 * 短い時間で呼名や挨拶ができ、会がスムーズに流れるようになった。</p>	<p>どんな時に使うもの？/ * 朝の会の呼名で使用する。余暇活動の遊びで使用する。 * 日常生活の指導、自立活動</p>
<p><休み時間> * 人に興味をもつようになった。(写真カードと本人の顔を見比べる等) * 「(教材を)ください。」のやりとりの学習にもつながった。 * 朝の会ごっこのような遊びに発展し、言葉の少ない児童にも人気の教材となった。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 児童生徒が扱いやすいよう、厚さのあるカードにする。 * 児童生徒の使い方によって、貼り方や扱い方を変えていく。(呼名されたらカードを黒板に貼る形式で行っていたが、貼る場所にこだわり、活動が滞る様子があったため、箱に入れるようにした。)</p>
	<p>使い方は？/ * はじめは教師がやり方をやって見せる。 * 黒板に箱を貼っておく。呼名された児童生徒は、返事をして写真カードを教師から受け取り、箱に入れる。教師や児童生徒のほうを向いて「おはようございます。」と挨拶する。 * 座っている児童生徒は、返事や箱に入れる操作、挨拶ができたら拍手する。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 音声ペンに興味を示し、自分から手に取り操作をしたり、準備をしたりする様子が見られた。 * 発語がない生徒でも、自分の力や少しの支援で朝の会等の進行ができるので自信につながると感じた。 主な使用年齢： 学齢期すべて</p>	<p>なまえ/ 進行ボード</p> <p>どんな時に使うもの？/ * 朝の会、帰りの会 * 日常生活の指導</p>
	<p>使う際のポイント/ * タッチする場所に注目できるように、丸シールを貼っておく。 * 発語がある児童生徒には、音声ペンの後に続けて復唱したり、簡単な進行の言葉を加えたりする。</p> <p>使い方は？/ * 音声ペン（VOCAペン）で、シールをタッチする。 * ひとつ終わったらページをめくって次に進行していく。</p>

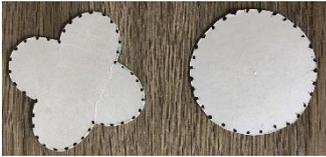
	<p>なまえ/ 数字マッチングケース</p> <p>どんな時に使うもの?/ * ボウリングのピンを1つずつ数える際に使用。 * 生活単元学習</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 数字の1対1対応が難しい児童も倒したピンを1つずつ数字の記入してある箱に入れることで正しい数字を確認することができた。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 児童生徒が1つずつ正確に数を数える場面や数字の1対1の対応させる際の手掛かりとなるように使用する。児童生徒の実態に応じて数字と一緒に数えながら入れるようにしたり、児童生徒が数列の順番に入れたりできるように支援したりする。数順が正しく理解できているか、自分で数えたりすることができるかなど、児童生徒の理解度に応じて使用する。</p> <p>使い方は?/ * ピンを箱の中に入れ、数字と対応させる。 * 児童生徒の実態に応じて言葉掛けをしたり、一緒に入れたりしながら数字を確認する。</p>
	<p>なまえ/ カルタ・マッチングカード</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 写真があらわすものの名前を読み、覚える。 * ものの名前を正しく聞き取り、写真を選ぶ。 * カード全体から同じものを選び、組み合わせる。 * 生活単元学習</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 神経衰弱やカルタとり等を学級で行った。友達とのかかわりが増え、新しい単語を使って自分から話すことができるようになった。 主な使用年齢：学齢期すべて</p>	<p>使う際のポイント/ * 学習の中で新しいことを見たり聞いたりした後、学習の中で使用した写真を用いて作成したカードを提示し、ものの名前を確認した後、ゲーム形式で楽しみながら言葉とものの結びつきを図っていくようにした。</p> <p>使い方は?/ * 平仮名・片仮名・漢字の読み書きの実態に応じて、表記を併用したりすることで児童・生徒の実態に合わせるができる。 * ゲームの中で獲得したカードの枚数を数えることで数を正しく数えること、数の大小比較などについて身につけることができる。</p>

 <p>Keynoteのアイコン</p>	<p>なまえ/ Keynote (プレゼンテーション用アプリ)</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 新しい内容を説明する時に有効だった。注目する所がテレビの画面に限られるため、実際にやって見せるよりも、注目しやすいと感じた。 主な使用年齢：ある程度の時間、画面に注目できる児童生徒</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 学習内容 (特に動きのある内容) の手順、やり方を理解する。 * 生活単元学習など</p> <p>使う際のポイント/ * 動画はできるだけ短く編集して使うと、集中して見やすい。YouTube にアップされている早回し動画を使うのも分かりやすい。(早回し動画の例 : 貼り絵、色ぬりなど) * 一度作成したものを基に編集することが簡単のため、次の授業にすぐに役立てられる。 * 児童生徒の好きな人や物を登場させることで、児童生徒の注意を引くことができる。 * 写真 (絵) の上には児童生徒の実態に合わせて文字を入れておき、注目を促したり、文字を読む学習をしたりするために、児童生徒に読んでもらう。</p>
 <p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * ストローが筒の中を通過していくの楽しみに、手元を見て取り組めるようになった。 * ストローが筒の高さまで達したら、教師に筒を手渡すようになった。 * ストローの入れる口を大きくしたことでより集中してできるようになった。 主な使用年齢： 中学部</p>	<p>使い方は?/ * iPhone や iPad と HDMI ケーブルを Lightning AV アダプタでつなぎ、テレビに映して見せる。 * AirDrop 等で送信し、他の教師と共有できる。</p> <p>なまえ/ ストローのれんメーカー</p> <p>どんな時に使うもの?/ * のれんを作るときに、身近な人と一緒に取り組んでいくための補助具。 * 生活単元学習 (作業的な学習)</p> <p>使う際のポイント/ * ストローが筒の中を落ちていく様子が分かるように、位置を調整する。楽しみながら取り組めるように、ストローが落ちていくときに「ひゅー！」と効果音をつけたり、「3・2・1」のカウントダウンで、ストローを落としたりする。 * 少しずつ自分で筒を持てるようになっていく。</p> <p>使い方は?/ ① ストローを筒の中に入れる。※①を繰り返し行っていく。 ② 筒いっぱいの高さまでストローを入れる。 ③ ストローに糸を通す。 ※③は現段階では教師が行っている。針の代わりに、細長い棒に糸を貼り付けた物を用意し、ストローに通す。</p>  <p>③棒状の針を通す。</p>

	<p>なまえ/ 「野菜を育てよう」振り返りシート</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 写真を多用したことで、「あの時のだ!」と振り返りやすく、また写真と現状を比較して野菜の成長に気づいていました。</p> <p>主な使用年齢： 中学部</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 野菜の成長の記録や活動してきたことを振り返る。 * 生活単元学習</p>
	<p>使う際のポイント/ * シートに興味関心を持ちやすく、また振り返りやすいように、生徒一人一人のキーポイントとなる手入れの様子を写真に掲載する。 * 野菜の名前、手入れの仕方や違いなどの覚えてほしい言葉を思い起こしながら、野菜の成長を感じ取れるようにする。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 約束を守り、道具を丁寧に扱えた。さらに、生徒が興味・関心をもてた。 * 校外学習では、事前に学習を積むことで、練習の成果が発揮された。</p> <p>主な使用年齢： 高等部</p>	<p>使い方は?/ * 野菜の栽培を通して、一斉場面での学習活動を振り返り、活動のキーポイントを確認し、生徒自身が活動について思い出したり、考えたりし、学習したことの定着を図ることができるよう、生徒がシートをまとめるようにする。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 約束を守り、道具を丁寧に扱えた。さらに、生徒が興味・関心をもてた。 * 校外学習では、事前に学習を積むことで、練習の成果が発揮された。</p> <p>主な使用年齢： 高等部</p>	<p>なまえ/ ビュッフェスタイル</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 約束を守り、道具を丁寧に扱えた。さらに、生徒が興味・関心をもてた。 * 校外学習では、事前に学習を積むことで、練習の成果が発揮された。</p> <p>主な使用年齢： 高等部</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 修学旅行の事前学習（校外学習）（他学部だと、宿泊学習でも応用できる） * 生活単元学習</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 約束を守り、道具を丁寧に扱えた。さらに、生徒が興味・関心をもてた。 * 校外学習では、事前に学習を積むことで、練習の成果が発揮された。</p> <p>主な使用年齢： 高等部</p>	<p>使う際のポイント/ * 取り分けのマナーやルールについて学び、実践して確認する。 * トングや箸の使い方についても確認しながら行う。 * 麺類については、毛糸を用いて再現することで、取り方を覚えた。</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 約束を守り、道具を丁寧に扱えた。さらに、生徒が興味・関心をもてた。 * 校外学習では、事前に学習を積むことで、練習の成果が発揮された。</p> <p>主な使用年齢： 高等部</p>	<p>使い方は?/ * バイキングの約束について学習後、1人ずつ確認しながら行う。その際、実際の形式に類似している形に配置する。</p>

	<p>なまえ/ 特別実習に向けて『服装を整えよう』</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 進路に向けた学習。特別実習を控えた高等部3年生の実習にふさわしい服装を確認するため。 * 実習先が指定した服装を自分で整えるため。 * 生活単元学習</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 目で見てわかることを目指した。 * 衣服の名称などは、意外とわからない生徒が多かった。イラストで確認できた。 主な使用年齢：高等部</p>	<p>使う際のポイント/ * それぞれの実習先が指定したことを守ることが1番大切だということを確認する。 * 具体的に、自分の服装と比較したりする。 * 友達の意見を聞いて、自分の意見と比較したりしながら、行う。 * 衛生面について、意識することが難しい場合は、どのようにすれば清潔なのかを具体的に伝える。</p> <p>使い方は?/ * 実習に向けた学習の中で使用する。 * 生徒一人一人に配付する。</p>
	<p>なまえ/ 性教育 ワークシート ~思春期の心と体について知ろう編~</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 思春期の男女の心身の変化を学習したい時。 * 今後生活する上で、適切な男女の距離感を学習したい時。 * 悩みや不安を相談する相手を知りたい時。 * 生活単元学習</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 始めは自分の性別以外の心身の変化を考えることが難しかったが、自分の意見だけでなく、友達の意見も記入することで、異性の心身の変化について知ることができた。また、発育・発達には個人差があることも知ることができた。 主な使用年齢：高等部</p>	<p>使う際のポイント/ * 自分の性別以外の心身の変化を考えたり、学習したりすることで、他者を受け入れようとする気持ちを育むことができる。</p> <p>使い方は?/ * 教師からの問い掛けを聞いて、自分の考えを記入する。 * ワークシートに記入した自分の考えを、それぞれ発表する。 * 友達の意見を聞いて、新たに分かったことも記入する。 * 16倍に拡大した物を廊下に掲示することで、自分自身で学習内容を振り返ることができる環境を作る。</p>

<p style="text-align: center;">< 計画を立てて外出しよう! ></p> <p>交通や時間との外出や校外学習は、とても楽しい時間です。 外出を楽しむためには、事前にしっかり計画を立てることが大切です。 さて、どのように計画を立てたら良いでしょうか。</p> <p>1. 行く場所を決めよう</p> <p>誰かと一緒に行くときは、しっかりと話し合い、意見を一つにまとめましょう。</p> <p>2. 出かける目的があると、決めやすいと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目的の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 図書館を利用しよう。 <input type="radio"/> 美術館に行こう。 <input type="radio"/> 映画を観よう など。 </div>	<p>なまえ/ 計画を立てて出かけよう (学習プリント・ワークシート)</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * (使用前) 校外学習などの計画を立てる際、何から始めたらよいか分からない様子であった。また、自分が何に興味をもっているか説明すること難しかった。</p>	<p>どんな時に使うもの?/ * 校外学習等の計画を立てたいとき * 余暇の過ごし方などを指導したいとき * 生活単元学習や職業等の授業</p>
<p>(使用中・現在) 教師が何をしたいか問かけると、「会津の名物を食べたい」や「文化を体験したい」等のテーマを話す姿が見られた。また、行き先が決まった後に、「移動手段はバスかな」等、考えるようになった。また、療育手帳を使用すると料金が安くなることを知り、「活用して出掛けたい」と話す生徒もいた。</p> <p>主な使用年齢：高等部 (公共交通機関の利用ができる生徒)</p>	<p>使う際のポイント/ * 手順に沿って計画を立てる経験を数回重ね、自分たちで話し合いをしたり、計画を立てたりすることができるようにする。 例：①近隣施設の利用→②郡山市内の施設の利用→③修学旅行の班別研修</p>
	<p>使い方は?/ * 学習プリントの 「1. 行先・テーマを決めよう」「2. 行く手段を考えよう」「3. 昼食場所を考えよう」「4. 必要なお金を計算しよう」「5. 持ち物を確認しよう」の順番に沿って、計画を立てる。 * 決まった内容はワークシートに記入し、最終的にしおりに記入できるようにする。 * 「1. 行先・テーマを決めよう」では、何に興味をもっているのか生徒自身が気付けるよう、「体験コース」や「歴史探求コース」等、具体的なテーマを教師から提示し、テーマに合う行先を調べられるようにする。 * 1～5のどの工程まで終わっているかチェックを付け、次は何をしたらよいか確認できるようにする。 * 無理のない計画の仕方についても学習できるようにする。 (例・目的地までのルート上にある場所で昼食場所を選ぶ。 ・バス停や駅などには余裕をもって10分前に到着できるようにする。 ・時間を有効に使えるよう、移動距離が短い場所にする。 * 療育手帳を提示すると公共交通機関の運賃が安くなること、施設の見学料等が安くなることについても指導する。</p>

<p>使用のようす</p>  <p>実際の製品</p> 	<p>なまえ/ 刺し子をしよう</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 「トートバッグ」や「ランチョンマット」に刺し子をする際に型紙として使用(無地の布地に刺し子をするときの目印として、様々な型紙を使用) * 作業学習</p> <p>使う際のポイント/ * 無地の布地に型紙を選んで印を打ち、刺し子をする。作業初めのところは大きな型紙で 1 cm 間隔の印を打って刺し子をする。型紙全体の印を打つことで全体像が分かり作業を進めやすくしている。刺し子に慣れてきた生徒は小さいサイズの型紙を使用したり、印の間隔を 1 cm から 5mm、または 3mm と細かくしたりできる。また、複数の型紙をレイアウトし、バッグのデザイン全体を見通して作業を進めることができる。 * 生徒は、同じ型紙等でも刺し子の糸の色を変えたり、印の間隔を変えたりすることで出来上がりのデザインの違いが分かり、お互いの作品を参考に見合うことができている。</p> <p>使い方は?/ * 無地の布地に、自分で配置を考えて置き、印を打つ。 ① 型紙を自由に選ぶ。 ② 手で押さえて、型紙周りの印にそって、布にチャコペン等でしるしを打つ。</p> <p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 刺し子のデザインとして丸型や角型、花型など描きたいデザインの型紙を作ることによって刺し子ができ、喜んで製作に取り組むことができる。実際の製作では型紙を組み合わせたり、複雑なデザインの型紙をつくったり製作の意欲につながっている。</p> <p>主な使用年齢：中学部</p>
--	--

 <p>使用の ようす</p> <p>実際の 製品</p>	<p>なまえ/ タイルならべ</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 工芸班の製品 「タイルを使ったコースター」を作る際の練習用として(作業工程を理解したり、細かな作業を行ったりすることが苦手な場合) * 作業学習</p>
<p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/ * 自由にタイルを並べさせた場合でも、配色やデザインに個性が表われておもしろい。一段階ステップを増やしたことで、実際の製品づくりではスムーズに作業することができた。</p> <p>主な使用年齢：中学部</p>	<p>使う際のポイント/ * A4サイズで印刷、ラミネートしたものをカットして型枠を作り、実際の製品づくりを行う前に、タイルを並ばせることで、実際の製品づくりの見通しを持つことができる。作業内容に慣れ、配色やデザインを工夫するイメージをつかむことができる。 * また、同じ作業を続けることが苦手な児童・生徒の場合には、できたことをほめたり、生徒同士の取り組みを発表しあったりすることで、意欲を持続できるように配慮している。 * 並べた後は、すぐばらせるので、何度でも繰り返し練習することができる。何度も行ふことで指先を使う訓練にもなる。</p> <p>使い方は?/ * 枠に合わせて、タイルを並べる。 ①タイルの色を自由に選んで並べてみる。 ②お手本を参考にして、同じ模様になるように並べてみる。 ③お手本を参考にして、自分で、配色やデザインを考えて並べてみる。</p>
 <p>作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など * しっかりと手で材料を押さえる必要がないので、のこぎりを引くことに集中できる。 * のこぎりをいれる溝が材料の角材の厚みより深いので、角材を切断すると急に手応えが軽くなり、達成感を感じやすい。</p> <p>主な使用年齢：簡単な木工具を使える年齢</p>	<p>なまえ/ 角材切断用補助具</p> <p>どんな時に使うもの?/ * 長い角材から同じ長さの角材を切り出す際に使用。 * 作業学習 (木工班)</p> <p>使う際のポイント/ * のこぎりを当てる溝の位置が長さごとに決まっているので、誰でも容易に同じ長さの角材を切断できる。 * 角材が補助具にしっかり固定されるので、初心者でも、のこぎりを引きやすい。</p> <p>使い方は?/ ①作業機の万力補助具を固定する。 ②角材を溝に通し、奥まで差し込んで、くさびで固定する。 ③目的の長さの溝にのこぎりを当て、角材を切断する。</p>



なまえ/ かみすき うちわ用

どんな時に使うもの？/

- * うちわ作成時に使用する紙すき器具
- * 作業学習

使う際のポイント/

- * 均等に紙が散るように、うちわ骨を置く際に、ゆっくりと沈める。攪拌させ穴が開かないようにする。

使い方は？/

- * 引き上げる際には、両手でゆっくりと引き上げる。揺らすことがないように丁寧に使う。

作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/

- * ミキサーで細かくした紙が羽部分に集中することで、ポイントがわかりやすくなった。

主な使用年齢：高等部



なまえ/ 清掃マニュアル

どんな時に使うもの？/

- * 清掃作業を行う時の、準備物の確認や、作業中の手順や道具の使い方の確認をする。
- * 作業学習

使う際のポイント/

- * 写真を見ながら、どんな道具を準備すればよいかを確認することができる。また、写真と同じように道具を並べて準備することで、道具の過不足を目で確認することができる。

- * 清掃の手順が写真付きで見ることができるので、やり方を確かめながら清掃をすすめることができる。

使い方は？/

- * 道具の準備の際に、必ずマニュアルを見ながら、準備をする。
- * 清掃の手順を忘れてしまったときに、マニュアルを見る。

作成者のコメント・使用した児童生徒の実態や変容など/

- * マニュアルを活用することで、自分たちで確認し合いながら作業を進めることができるようになる。字を読むことが苦手な生徒がいたが、写真があるので、写真を見て理解することができた。

主な使用年齢：高等部

知的障がいのある児童生徒のための教材教具集

福島県立あぶくま支援学校

TEL (024) 956-1910

FAX (024) 956-5416

URL <https://abukuma-sh.fcs.ed.jp>

令和3年1月